

# 災害シーズン...

## 日ごろの備えは大丈夫？



### 風水害対策

#### 屋内

停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオの準備を！  
避難に備えて、貴重品などの非常持出品の準備を！  
気象情報を注意深く聞く。  
むやみに外出しない。  
断水などに備えて、飲料水などを確保しておく。  
浸水などの恐れがあるところでは、家財道具や食料品、衣類、寝具などの生活用品を高い場所へ移動。  
高齢者や乳幼児、病人などを安全な場所へ。

#### 屋外

**雨どい・雨戸**  
雨どいに落ち葉や土砂が詰まっているか。継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。雨戸にガタツキや、ゆるみはないか。

**屋根**  
瓦のひび、割れ、ずれ、はがれはないか。トタンのめくれなどはないか。

**外壁**  
モルタルの壁に亀裂はないか。板壁に腐りや浮きはないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。

**ブロック塀**  
ひび割れや破損箇所はないか。

**窓ガラス**  
ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。また強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなどの処理を。

**ベランダ**  
鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高い物は室内へ。

**側溝**  
側溝のゴミや土砂をとり除き、雨水の排水をよくしておく。

### 地震対策

#### 家の中の安全チェック！

ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。

防火加工のカーテン。

背の高い家具はL字金具や支え棒などで固定しましょう。家具の上に、重い物や壊れやすい物を置かないように！

冷蔵庫は倒れないように金具などで固定しましょう。

二段重ね式の家具は、つなぎ目を金具でしっかりと連結しておきましょう。

ストーブは対震自動消火装置付きのものを。周囲に燃えやすい物を置かないように！

家具と壁や柱の間に隙間ができないように、板などを家具の下に差し込んで寄りかかるように固定しましょう。

#### 地震発生！ そんなときどうする？

【屋内の場合】  
揺れを感じたら、テーブルなどの下に隠れ、身を守る。

火の始末はすみやかに。  
乳幼児や病人、高齢者など災害弱者の安全確保。  
ガラスの破片などで、ケガをしないよう裸足で歩き回らない。  
ドアや窓を開けて避難口を確保する。

【車を運転中の場合】  
車を道路脇に止め、避難が必要なら、鍵をつけたまま、車検証などの貴重品を忘れず持ち出し、徒歩で安全な場所へ避難。

【海岸付近の場合】  
高台へ避難し、津波情報をよく聞く。

天災は忘れる前にもやってくる!



(写真) '98高知豪雨と昨年実施した物部川・仁淀川水防演習

避難場所名	電話
十市保育所	865-8801
十市小学校	865-5011
高齢者多世代交流プラザ	865-2188
錦城公園	
峰寺	865-8430
稲生保育所	865-8207
稲生小学校	865-8246
里保育所	865-1200
三和小学校	865-8338
琴平山	
大湊保育所	865-8554
大湊小学校	865-8238
前浜公民館	865-3070
伊都多神社	
スポーツセンター	865-8015
あけぼの保育所	864-2701
日章小学校	864-2726
香南中学校	864-2722
大篠保育園	863-2482

避難場所名	電話
明見保育所	863-2250
大篠小学校	864-2374
香長中学校	863-2460
県立東工業高校	863-2188
明見部落公民館	
大篠公民館	863-3957
中央公民館	864-0623
市民体育館	
後免野田小学校	864-2219
県立農業高校	863-3155
後免町公民館	864-2880
野田公民館	864-1540
長岡西部保育所	864-2927
長岡小学校	864-2309
鷹ヶ池中学校	864-2678
長岡西部体育館	863-4559
国府保育所	862-0700
国府小学校	862-0024
国府公民館	862-2831

### 南国市避難場所一覧

避難場所名	電話
北陵中学校	862-0280
県立岡豊高校	863-1313
久礼田保育所	862-0120
久礼田小学校	862-0122
久礼田体育館	862-1772
たちばな幼稚園	862-1212
白木谷小学校	862-0932
奈路小学校	862-0161
黒滝自然館せいらん	862-0858

\* 近くの避難場所を確認しておきましょう！  
避難する際は、周辺の山肌や河川の状況などの変化に気を付け、近隣の避難所と連絡を取り合い、早めに判断することが大切です。



### 「災害に強い町づくり」を目指して！—自主防災組織の結成の促進—

近年、毎年のように全国各地で未曾有の集中豪雨や地震が発生しています。  
この要因は地球環境の変化で、特に温暖化が大きな要因ではないかといわれています。また、いつ災害にみまわれるかもしれません。

さて、この災害に対して全国的に「自分の身は自分で守る、自分たちの町は自分たちで守る」という意識の高まりから、自主的な防災組織が、各地に結成されています。

これは、本市でも同様で、平成10年の水害以降、すでに40組織が発足し、地域の町内会単位で、資器材の整備や家庭でも役立つ消火器の使い方などの講習会を行い、防災意識を深めています。

防災行政の観点からも、自主防災組織の果たす役割は、今後ますます重要になります。市が実施する防災訓練などにも積極的に参加していただき、また、家庭や職場・地域でも実践していただきたいと思えます。

自主防災組織などについて  
お問い合わせは  
総務課総務管理係  
(880・6551)まで